

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（特養）

施設名 京都市桂川特別養護老人ホーム

1 施設の管理運営

【開所時間及び開所日】24時間365日 【利用定員】特別養護老人ホーム（50名）、短期入所（4名） 【入所者処遇（サービス提供）】 基本理念である「一人ひとりの利用者の人権を尊重し、利用者の人達の主体性と自立性を守っていく」を念頭に「安心」「安全」「信頼」の得られる事業者として満足が得られるようサービスを提供する。
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

【介護保険給付対象サービス】 利用者に対して入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護。栄養ケアマネジメント、相談等の精神的ケア、社会生活上の便宜、機能訓練、健康管理及び療養上の介護の提供。 【介護保険給付対象外のサービス】 食事、居住の提供、金銭管理、レクリエーション活動等。 【サービス向上の主な取り組み】 徹底したコロナウイルス感染対策の実施。法人人材一括採用・育成の仕組み作りを促進、組織力向上を主眼においた職員育成・定着を目指した育成部門を設置。
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容
（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

【特別養護老人ホーム職員配置】 ①管理者 1名 ⑤介護職員 18名 ②医師 3名 ⑥管理栄養士 1名 ③生活相談員 1名 ⑦個別機能訓練指導員 1名 ④看護師 4名 ⑧介護支援専門員 1名
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・市内中小企業に優先して発注するように努めた。 ・障害者就労事業所への業務委託、雇用を促進している。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 延べ利用者数（実績値）

17721 人

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況（単位：円）

介護保険収入	189,633,238
利用料収入	29,008,990
委託料収入	
補助金収入	2,767,172
寄付金収入	
雑収入	982,545
その他	1,604
収入計	222,393,549

イ 令和4年度支出状況（単位：円）

人件費	166,121,686
事業費	47,350,675
委託費	24,013,598
小額修繕費	1,479,854
その他	20,505,896
支出計	259,471,709

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

①実施期間 令和5年12月
②対象者 入所者家族
③調査方法 質問項目：13項目 無記名アンケート方式 5段階評価で実施

(2) 利用者満足度把握の結果

【回答者数】38名/50名（回答率76%）
【評価方法】5段階無記名方式
【総合評価】令和3年度に頂いたご意見には、コロナ禍で訪問・面会も制限されている為、アンケートへの回答が難しいという意見多く寄せられた。令和4年度はモニタリング報告に併せ、日常写真やブログアップすることでご利用者の様子を伝えることができたのか、同様の意見は減少した。評価結果は概ね4以上の高評価を頂き、提供しているサービスに対し一定以上の満足を得られていると評価できる。

(3) 意見等への主な対応状況

満足度アンケート回答で頂いたご意見等については、役職者ミーティング等で対応検討を行った。集計結果は職員全体で供覧、ご家族向けには集計結果報告を書面にして配布した。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

令和4年度は、「一人ひとりが考えて行動できる組織づくり」を基本方針に掲げて職員の行動規範ともなる就業規則・諸規定の改定や業務マニュアルの見直しを行った。個々の職員が理解し行動できるためのコミュニケーション研修などは不十分であったが、事故苦情の発生事例に基づいた「リスクマネジメント研修」は回数も重ねて取り組めた。また、障害を理由とする差別の解消に向けた職員研修により理解を深めた。

事業運営については、新型コロナ感染対策追われるとともに第7波や8波による休業や利用控えは厳しい実績低下となった。特に短期入所、通所部門に大きな影響を受けた。障害部門の入所事業は安定した運営ができたが、入所者の高齢化・重度化による入院者の増加傾向にあり今後の課題となる。高齢部門の入所・短期事業は稼働目標を達成したが、人件費を主とするコスト改善が急務となった。

また、組織力向上を主眼においた昇格人事や職員育成・定着を目指した育成部門の設置を進め、令和5年度から試行実施する「人事考課制度」を先行する京都厚生園から学び準備を行った。

京都市との関係においては、京都市指定管理事業所の申請更新完了、高齢全部門は市の運営指導を受け特筆すべき指導なく終了することができた。人材の確保・定着を促進することが重要課題である。

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（短期）

施設名 京都市桂川特別養護老人ホーム
短期入所施設

1 施設の管理運営

【開所時間及び開所日】24時間365日 【利用定員】特別養護老人ホーム（50名）、短期入所（4名） 【入所者処遇（サービス提供）】 基本理念である「一人ひとりの利用者の人権を尊重し、利用者の人達の主体性と自立性を守っていく」を念頭に「安心」「安全」「信頼」の得られる事業者として満足が得られるようサービスを提供する。
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

【介護保険給付対象サービス】 利用者に対して入浴、排泄、食事等の日常生活上の介護。相談等の精神的ケア、社会生活上の便宜、機能訓練、健康管理及び療養上の介護の提供。 【介護保険給付対象外のサービス】 食事、居住の提供、レクリエーション活動等。 【サービス向上の主な取り組み】 徹底したコロナウイルス感染対策の実施。法人人材一括採用・育成の仕組み作りを促進、組織力向上を主眼においた職員育成・定着を目指した育成部門を設置。
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容
（参考）自主事業内容

3 サービス提供状況

【特別養護老人ホーム職員配置】 ①管理者 1名 ⑤介護職員 18名 ②医師 3名 ⑥管理栄養士 1名 ③生活相談員 1名 ⑦個別機能訓練指導員 1名 ④看護師 4名 ⑧介護支援専門員 1名
（参考）今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・市内中小企業に優先して発注するように努めた。 ・障害者就労事業所への業務委託、雇用を促進している。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 延べ利用者数（実績値）

1061	人
------	---

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況（単位：円）

介護保険収入	10,936,094
利用料収入	2,197,921
委託料収入	
補助金収入	122,812
寄付金収入	
雑収入	
その他	2
収入計	13,256,829

イ 令和4年度支出状況（単位：円）

人件費	
事業費	790,603
委託費	2,313,478
小額修繕費	
その他	66,820
支出計	3,170,901

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和4年度短期入所の満足度アンケート調査は実施していない。

(2) 利用者満足度把握の結果

令和4年度短期入所の満足度アンケート調査は実施していない。

(3) 意見等への主な対応状況

令和4年度短期入所の満足度アンケート調査は実施していない。

7 その他特記事項

(1)

--

(2)

--

8 評価（指定管理者自己評価）

令和4年度は、「一人ひとりが考えて行動できる組織づくり」を基本方針に掲げて職員の行動規範ともなる就業規則・諸規定の改定や業務マニュアルの見直しを行った。個々の職員が理解し行動できるためのコミュニケーション研修などは不十分であったが、事故苦情の発生事例に基づいた「リスクマネジメント研修」は回数も重ねて取り組めた。また、障害を理由とする差別の解消に向けた職員研修により理解を深めた。

事業運営については、新型コロナ感染対策追われるとともに第7波や8波による休業や利用控えは厳しい実績低下となった。特に短期入所、通所部門に大きな影響を受けた。障害部門の入所事業は安定した運営ができたが、入所者の高齢化・重度化による入院者の増加傾向にあり今後の課題となる。高齢部門の入所・短期事業は稼働目標を達成したが、人件費を主とするコスト改善が急務となった。

また、組織力向上を主眼においた昇格人事や職員育成・定着を目指した育成部門の設置を進め、令和5年度から試行実施する「人事考課制度」を先行する京都厚生園から学び準備を行った。

京都市との関係においては、京都市指定管理事業所の申請更新完了、高齢全部門は市の運営指導を受け特筆すべき指導なく終了することができた。人材の確保・定着を促進することが重要課題である。